



北のシュプール

第492号

発行 北海道勤労者スキー協議会機関紙部 編集責任者 金濱 茂
 札幌市白石区平和通3丁目北 3-13-202 tel&fax:011-784-3272 郵便振替 02700-7-48231
 ホームページ: <http://www.wsah.info/> e-mail: wsaj.hokkaido@gmail.com

全国スキー協山スキー一部主催 立山大滑降に参加して

オフピステ 鶴野 富美子 記



2024年5月4日(土)~5日(日)全国スキー協 山スキー一部主催の立山大滑降が富山県立山で行われました

北は北海道、南は兵庫から、約50名が参加、北海道からはオフピステの4人が参加しました。2日間とも雲一つない晴天に恵まれ、広大な立山連峰の絶景の中で、春の立山を楽しむことができました。

5月3日前泊、 10:55 ゴールデンウィークで混み合う千歳空港を出発し、富山に着いたのが12時半、お弁当に富山名物とろろ昆布おにぎりを買って、バス→電車→ケーブルカー→電気バスと乗り継ぎ室堂ターミナルにたどり着いたのは午後4時半。そこからスキーに履き替え40分以上かかってやっと宿泊先のライチョウ温泉に到着しました。お宿「ライチョウ荘」は2段ベットの8人部屋ですが、大日岳ビューの天然温泉かけ流し、6品の

おかずが付いた美味しい夕食、スマホ充電し放題、山小屋とは思えない快適さでした。

5月4日(土)

7つのグループに分かれ滑走しました。私たちは”立山初めて”のグループに参加、8:55 シールを付けてライチョウ荘を出発、晴天に恵まれ無風、ヘルメットの後頭部がじりじり暑い！標高が高いせいか息切れや頭痛がしました。休んでいるとライチョウが”ここまでおいで”と言わんばかりに前に現れます。真砂岳を目指し2615mまで登り12:00 行動停止、一息ついてシールをはがして滑走準備。斜面は立て溝が掘れてかたがたしていたので慎重に滑りました。ザラメに近く楽しかったです。

同じグループの方たちに”さすが北海道”と冷やかされながら滑りました。皆さん元気でまた登り返しに行きましたが、北海道組は、昨日の疲れと高度障害のためそんな元気はなくそのまま宿へ向かいますが最後にキャンプ場からライチョウ荘までのきつい登りが待っていました。早々に宿に帰って一息つくると昼ごはんの弁当を食べていなかったことに気づき遅い昼を食べ、「温泉」で汗を流しました。

夜、夕食後は交流会、各クラブの紹介があり、新潟魚沼スキークラブの方たちからは、スキー場存続の署名を全国に協力してもらい3つのスキー場が閉鎖されず残ったと報告とお礼が述べられました。高山病の心配があるのでアルコール抜きでしたが和気あいあいと楽しかったです。



5月5日(日)



5月4日が晴天だったので予備日だった5日は、それぞれのグループが思い思いに自由滑走することになり、私たちは室堂ターミナルの裏山、室堂山に行きました。この日もすばらしい晴天。気温も上がり水が滴りそうな雪でした。急な斜面に見えましたが、またライチョウのカップルが励ましてくれました。雪の大谷を下に見ながら登ると、頂上は緩い丘のようで、北アルプスの槍や穂高、遠くには白山まで見える素晴らしい展望。そして少し顔をのぞかせる剣岳。本当に素晴らしいスケールの大きい景色、見ているだけでとても幸せでした。この日宿で1本の缶ビールをみんなで分けあい立山に乾杯しました。

スキーとスキー靴を背負って(荷物は約17kgあった)交通機関を乗り継いだ往復は大変きつかったですが、苦勞を吹き飛ばすほど楽しく素晴らしい2日間でした。乗り継ぎ時間も余裕がなく、名物など食べたり寄り道は出来なかったため、その点ではかなり心を残してきた立山大滑降でした。

「春スキーと焼き肉」 毎年恒例例会

大平原スキークラブ 佐藤 久輝 記



大平原スキークラブの「春スキーと焼き肉」例会は毎年恒例の行事です。約30年前頃から始まった行事で最初はお昼ご飯に焼き肉をする、そのために七輪を持って行き、こじんまり囲んで焼肉をしておにぎりを食べる、勿論メインは春のくされ雪で技術向上を目指しながらスキーを楽しむことでした。それが回を重ねることに少しずつ大掛かりになって行きました。焼き台(コンロ)も大きくなり雨対策でタープを張るとかエネルギーが必要でした。2020年コロナ禍になってから流石に焼き肉は中止。今年から復活かといろいろ検討したところ、現地富良野スキー場近くに安上がりで道具も要らず焼き肉を楽しめる所を発見。焼き台、テント、椅子、テーブル、皿、箸、材料の買い出しなどの準備は必要なく便利な焼き肉となりました。



年々、地球温暖化で桜の咲く時期が早くなり、山部の東大演習林の桜は春スキーの時に観られます。気候の変動にともなって雪の融雪の速度は早くなり4月28日のスキー場の積雪は15センチ。えっ!そんなんでスキー出来る?とスキーをあきらめる参加者もいて観光主体になったようです。写真は春の富良野を楽しむ仲間たちでした。

渡邊公平さん、横塚良雄さん、私佐藤は面目躍如、積雪は少なくとも滑れる条件であれば滑る!とスキーを楽しみました。黄砂が降って滑らない雪か?と思いましたが春の雪質にしては上々でポジションの確認にも良い練習ができました。

今回の春スキーと焼肉例会にはスカデいの仲間たちもしていただき宿泊して夜も楽しい交流ができました。ありがとうございました。



岩見沢ホワイトフレンド総会開催

岩見沢ホワイトフレンド 西飯 弘行 記

4月14日の第39回総会は23名の参加でした。S木Yさんを議長に選出して、1年間の活動を振り返り、会計決算・予算を承認し、新年度の役員を決め、さらに今年のオフ活動の計画を話し合いました。

話し合いの後、個別のオードブルを着に各自持ち寄った飲み物でのどを潤しながらおしゃべりの花を咲かせ、満開にしたところで解散となりました。

ここ4年あまり、コロナの影響でみんなで集まってワイワイ話し合うことができずにいましたが、今年は元に戻ってオフの例会企画を「フットパス」「サイクリング」「パークゴルフ」の部に分かれての計画立案となりました。数年のブランクがあるにもかかわらず、当たり前のごく自然な動きで各部に別れ、リーダーを決め、例会内容と日程を決めて行くみんなの動きは「すごいなあ」とあらためて感じました。

役職	氏名		
会長	M 田 Y 樹	幹事	S 影 K 美
副会長	H 田 H 市	幹事	M 崎 S 市
事務局	N 飯 H 行	幹事	A 元 A 子
事務局次長	M 腰 I 子	会計監査	K 山 T 美子
幹事(会計)	K 添 N 子		K 端 Y 子

4月22日に役員とリーダーが集まって調整会議を行い、今年のオフ例会を決定しました。オフ例会が天候など良い条件の中で進むことを期待します。また、役員は下記のように決まりました。1年間よろしくね

NMF 第39回定期総会開きました

ナイスミドルフレンド 小野 瑤子 記



5月12日(日)高教組センターで36名参加

総会では、何よりも物価高騰、スキー場などの経費値上げのなか、安く工夫して行った例会の総括と次年度どのようにしていくかの意見を集めることが大きなテーマでした。

従来の「遠方の例会は貸し切りバスで」の方針を持ち続けられなくなり、「2月のカムイリンクスフェスティバルへは、安価なバス利用・

ルスツには無料バスの利用、道路事情がよくなった3月にニセコ・キロロの自家用車乗り合わせを行った」ことに対し、「例会部の大変な尽力に感謝します」、でも「遠方への運転は避けたいので次年度も何回かのバス利用で安心して滑りたい」など、意見が出されました。もう一つは、7回計画した、指導員受験援助など会員の技術向上を目指す例会への感想です。1回は悪天候で中止しましたが、6回で延べ95人が参加し、期待の大きさを実感しました。「角付けの重要性だわかり上達したように思う」など、今年も続ける方針を持ちました。



37歳の青年が新会員です

37歳の青年が新会員になりました。参加者はびっくり!!「若い人よりシニア層が話しやすい、仲間と滑りたいとネットで探し、シニアと書いてあったクラブにアクセスした。入れてもらえてうれしい、技術向上に励みます」と挨拶されました。参加者の感動と激励の拍手!!

懇親会も28名も参加し、コロナ以前のような賑やかな交流が行われました。

役員改選の年です。

会長には小野瑤子(再)、副会長には武田彰(再)、築田恵美子(新)などが選出されました。

お知らせです

道スキー協 第21回代表者会議 開催!

日時 7月 7日(日)9:30~12:00 対面とZOOM

場所 北海道高等学校教職員センター 4階 大会議室

第21回代表者会議を開催します。代表者会議は、総会の開催されない年に会長が召集する「総会に準ずる機能をもつ」会議です。この会議では第23回総会方針に基づき、2024年度 活動全般と決算報告、2025年度活動計画及び予算を決定します。「2024年度会費納入クラブ」「会費納入数30名までは1名、31名以上2名」で選出された代表者と「会長、副会長、常任理事、理事、会計監査」で構成。代表者の過半数の出席で成立、出席代表者の過半数で議決、傍聴者は議決に参加できない等です。

代表者の派遣をお願いします。代表者数は21名です。

対面とリモート(Zoom)参加を併用します。

準備の都合がありますので、「代表者登録用紙」を6月30日(日)までに事務局宛にご連絡ください。

ご参集の程よろしく願いいたします。

全国スキー協主催

summerSeminar in Aomori

日時 2024年8月24日(土)/25日(日)

会場 ホテル青森 参加費 20,000円

24日 講演私とブルーモリス ブルーモリス前会長阿部悠二さん

講演八甲田の自然と地球温暖化 講師未定

25日 講義リーダーテキストを深めよう 全国スキー協理事長 小川洋さん

講義なぜ谷回りターン技術なのか?(仮)全国スキー協副会長荻原正治

講義指導員規定の理解と運営 青森スキー協教育部

詳細が分かり次第お知らせいたします

道スキー 第21回夏季クラブ交流会 in 旭川

協主催

日時 2024年9月7日(土)/8日(日)

会場 東神楽町公園 森の湯花神楽

- ① 旭岳登山 姿見駅から旭岳 往復所要時間 4時間25分
- ② 旭岳散策コース 1.7km 所要時間 約1時間
- ③ 羽衣の滝コース 天人峡 所要時間 約1時間
- ④ パークゴルフ(森林公園内) 45ホール
- ⑤ アクティビティ(サイクリング) 忠別川沿いにサイクリングコースがある
- ⑥ 旭山動物園
- ⑦ 美瑛周遊コース 青い池 望岳台 四季彩の丘 北西の丘など

